

【 中川財務相 “泥酔(?)” 会見についての 日本人記者と英ブラウン首相とのやり取りの抜粋 】

日本人記者(A)：きのう日本の財務大臣が G7 での会見の際に明らかに酔っていたために辞任しましたが、彼の無残な行動をどう思いますか？また今の日本の悲惨な経済をどう思いますか？

ブラウン首相：そうですね、私は次の G20 の会合が来た時に日本の首相及びだれがなっているにせよ、財務大臣にお会いするのを楽しみにしています。G20 では我々は始終会合に参加していることですから、あなたが話しているような、ローマで(中川大臣に)起こったような多くの出来事が起こるようなオフの時間はないと思います。

あなたの国の財務大臣は、あなたの国の首相が国際社会に対して推進して
いてくれた事柄に、とても熱心に取り組み続けてきてくれました。
私は、「国際金融組織を強化する」という日本の提案に、日本と協力して
取り組む事を、特に楽しみにしています。

日本人記者(B)：すみません、私の質問もまた日本の財務大臣についてなのですが、責任上、彼が辞任するというのは自然だと思いますか？
また、アリスティア・ダーリング氏(イギリスの財務大臣に当たる人物?)が同じことをすれば、それに対してどのように対応しますか？

ブラウン首相：そのことは間違いなく財務大臣会議において、より面白いことではありましたがね。私が財務大臣だった時には、そのような会見で注目を浴びた経験は確かにありませんでしたから。けれども、私が日本の財務大臣が辞職を申し出た個人的な決定に関して、コメントをするなどとは期待しないでいただきたい。
そういうことは彼の問題なのであります。

ブラウン首相は中川氏辞任問題に対して、はっきりとコメント拒否をしています！

— (編集部より) —

上記のやり取りを、まともな大人の日本人が読んだらどういう風を感じるでしょうか？
ブラウン首相は、中川大臣の辞任を残念がっている様に感じますが…。国際社会の失笑を買っているのは、自国の大臣の失態を喜々として質問している日本人記者の方なのではありませんか？そしてこの内容を右ページの報道ステーションのような内容に切り貼り工作しているテレビ報道に対して、どの様に思われますか？
上記のやり取りの中で、日本の報道各社が、一番国民に伝えなければならない内容は何でしょうか？どう考えても、報道されなかった部分 **あなたの国の財務大臣は…**
こそが、一番大切な部分ではなかったのでしょうか？
更に G7 の内容(日本の成果)が、テレビでは全く報道されていないのは驚愕です！

G7では、日本がIMFに1000億ドル(10兆円)相当のドルを融資したことが評価され、IMFのストロクソン専務理事は日本の取組みを「**人類の歴史上最大の貢献だ**」と感謝の言葉を述べた。(実際、ウクライナなど、早速融資を受けて破綻を免れた中小国もあり)